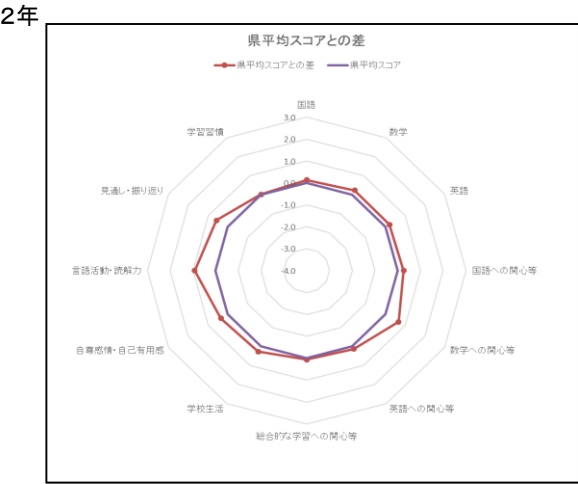
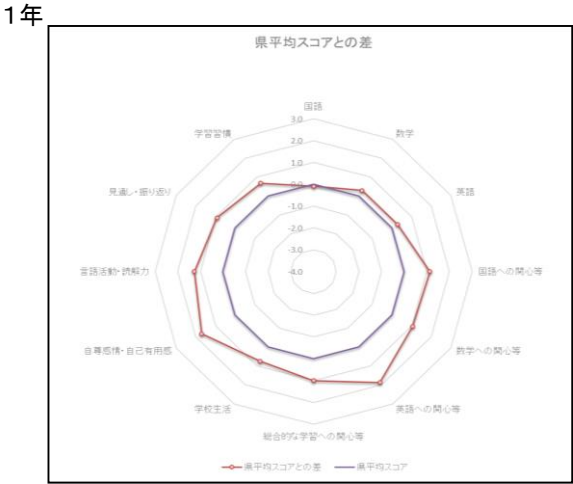


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立玉湯中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○単語の類別や歴史的仮名遣いなどの問題は比較的理解できている。 ●意見の読み分けや資料を読み取る力が不足しており、正答率、無回答率ともに低い。 ●漢字の読み書きの力をつけていく必要がある。	・漢字については、現在行っている小テストなどを今後も継続していく。 ・思考ツールを利用して文章や資料を読み取る力をつけていく。
	数学	○小テストや繰り返しの学習により、基礎基本の計算や知識は習得できており、基本的な問題は6割～9割の生徒が正答している。 ○正答率が6割以下の問題に対しても、無解答率が低く、正答率も高い。取り組む姿勢がよいと感じる。 ●中学校ではまだ取り組んでいない資料の活用領域の正答率が低い。	・基礎・基本の定着を図るための小テストを継続して行う。 ・主体的に考え、課題に取り組む姿勢を普段の授業からトレーニングしていく。 ・発展的な課題に取り組み、興味関心を高める。
	英語	○基礎的な語彙力や会話表現の知識は比較的確定しており、英文の内容の読み取りの力も身につけている。 ○英語学習への関心が高い生徒が多い。 ●まとまりのある内容で、正しい英文を書く力が弱い。	・基礎的な語彙や定型文の習得をねらった小テスト、グループやペアでの会話活動は、これまで通り常活動として継続する。 ・外国語表現の能力で、特に自分の考えや感想を話したり書いたりすることに重点を置いた単元計画や活動を考え、きめ細かく指導する。
2年	国語	○平均正答率が全ての領域で県平均を上回っている。特に、中2までの配当の常用漢字の読みは100%の正答率であった。 ●「読む」領域の「文の内容に沿って自分の考えを述べる」力をつける必要がある。	・漢字については、プリントや小テスト等で引き続き定着を図る。 ・読み取った内容をもとに、自分の知識や体験と関連づけながら自分の考えをまとめ、それをお互いに聞き合うような活動の充実を図る。
	数学	○基本的な四則計算(分数を含む)は定着している。 ○数学に対する興味関心をもち、記述問題にも粘り強く取り組んでいる。 ●グラフから関数の式を求めることに課題がある。	・小テストを引き続き実施し、計算技能の定着を図る。 ・記述やグラフを読み合うことを通して、生徒が数学の問題に対する粘り強さを培う取組を継続する。 ・島根県学力調査フォローアッププリント等を活用して関数に関する知識・技能の定着を図る。
	英語	○英文の内容を読み取る力が定着している。 ●対話の流れにあうようにあうように英文を書く設問では、県平均を上回ってはいるが、正しい英文を書く力が不足している。また、聞いた読みだりした内容に対して、まとまりのある英文を正しく書く力が弱い。	・基本的な語彙の習得、表現力をつけるためのペア活動、グループ活動等の常活動は今後も継続する。 ・聞いたり読んだりした内容について、自分の考えや感想を話したり書いたりして伝え合うような言語活動を設ける。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	66	56	67
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

受検者数
1年生 54 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○授業中ペアやグループでの話し合い活動が積極的に行われており、自分の意見を言う機会が保証されていると感じている。 ●授業の復習は概ねできているようだが、予習をやる生徒の数は少ない。	・授業の予習のやり方について指示を与え、予習の時間を家庭学習に組み込むようにする。
	家庭学習に関わる事項	○1時間以上、家庭学習をしている生徒の割合が高い。 ●宿題をていねいに見て返してもらっていると回答した生徒が県平均よりやや低い。	・各教科の宿題や、学年で行っている自学ノートの取組において、コメントの記入などをよりていねいに行っていく。
2年	授業改善に関わる事項	○授業での話し合い活動が各教科で行われており、生徒が主体的に参加することを意識した授業づくりが行われている。数学への関心への改善傾向にもそれが反映されている。 ●課題以外で、自ら復習をしたり、予習をする生徒の割合は少ない。	・教科担当と連携し、予習内容を授業に取り入れることも検討する。
	家庭学習に関わる事項	○課題に取り組む生徒の割合は、県平均とほぼ同じである。 ●家庭学習を1時間以上行う生徒と、ほとんど行わない生徒と二極化の傾向がある。	・頑張った取組を紹介したり、テストの計画や振り返りを丁寧に行うことを指導し、必要に応じて家庭と連絡を取って指導する。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

